

### 3. 部門別業務資料

## 3-1 診療部

## 循環器内科

令和5年度も引き続き毎週木曜日に向井医師、毎週金曜日に内藤医師が診療を行った。また、浜松医科大学循環器内科より月曜日に坂本医師、水曜日に井口医師にお越しいただき外来診療を行った。心臓CT読影には、毎週水曜日に熊澤医師にお越しいただいた。

対象患者は心不全、虚血性心疾患、心臓弁膜症、不整脈、大動脈疾患、高血圧などが主であるが、心臓カテーテル検査は施行していないため、精査やカテーテル治療が必要となる症例は他院へ紹介している。

### 主な循環器検査内容

	令和4年度	令和5年度
心電図	2,951件	2,420件
心エコー	891件	898件
ホルター心電図	64件	62件
トレッドミル	11件	8件

## 呼吸器内科

令和5年度も引き続き浜松医科大学呼吸器内科より毎週月曜日に田熊医師、毎週火曜日に青野医師、毎週木曜日には穂積医師が外来診療を行った。入院が必要な患者は近隣病院と連携を図り、紹介や当院内科医師への依頼とした。

## 神経内科

令和5年度は、毎週火・木曜日に小野澤医師による神経内科外来並びに物忘れ外来診療、第1・3・5金曜日に國井医師による神経内科及び物忘れ外来診療を行った。

## 消化器内科

令和5年度も毎週金曜日に藤田医師、毎週火曜日午後に菊川市立総合病院の二見医師が外来診療を行った。

## リウマチ・内分泌内科

令和5年度も毎週水・金曜日に大橋医師、毎週月・火・水・金曜日に近藤医師、毎週木曜日に浜松医科大学免疫・リウマチ内科の古川医師がリウマチ科診療を行った。

生物学的製剤の症例は年々増加しており、令和5年度は合計546人に投与した。

また、今年度、静岡家庭医療養成プログラムによる専攻医が1名リウマチ科研修を行った。

	令和4年度	令和5年度
外 来 延 患 者 数	7, 4 8 8人	7, 0 6 9人
生物学的製剤使用患者数	5 3 2人	5 4 6人

#### 生物学的製剤使用内訳【令和5年度】

エタネルセプト	1 0 2人	レミケード	1 9人
シンボニー	7 6人	ジセラカ	1 9人
アクテムラ	6 1人	シムジア	1 7人
エンブレル	5 3人	ゼルヤンツ	1 5人
オレンシア	5 3人	ケブザラ	9人
オルミエント	3 6人	インフリキシマブ BS	7人
リンヴォック	3 1人	スマイラフ	3人
アダリムマブ	2 2人	ナノゾラ	3人
ヒュミラ	2 0人	合計	5 4 6人

## 小児科

外来患者数は、新型コロナウイルス流行以前の患者数を上回り順調に増加して、ここ数年で最大の規模となっている。常勤医師1名という状況で、重症心身障害児を対象とした福祉型レスパイト事業、地域の助産院への新生児診察（往診）及び重症児への訪問診療（含む、訪問リハビリ）なども継続しており、地域の総合病院として様々な取組を行っている。病院及び病棟の事情により、小児の入院受入れを一旦休止しているが準備が整い次第再開したい。

専門外来として、浜松医科大学からの派遣による内分泌外来（週1回、金曜日）、福田医師による神経外来（月2-3回）、石川医師による循環器外来（月1回）を行っている。

今後も既に行っている新生児蘇生法講習会を地域（救急隊など）に向けて発信し、近隣病院と連携を深めながら、地域医療をさらに充実させるよう取り組んでいきたい。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
外 来 患 者 数	4, 6 6 8人	5, 8 5 2人	5, 1 0 7人
入 院 患 者 数	2 5人	0人	0人
レ ス パ イ ト	2 1人	8人	0人
重症児訪問診察	3 4人	2 3人	3 2人
新生児訪問診察	2 4人	1 6人	1 4人
新規発達相談件数	5 6人	4 5人	7 1人

## 外科

令和5年度は、大石医師、岩瀬医師、中村医師の3名を中心に外来・手術を行った。5月末まで小泉医師にも非常勤で診療に当たっていただいた。

また、浜松医科大学第二外科の山中医師による血管外科診療を週1回行い、浜松医科大学小児外科の奈良医師が6月まで、7月からは澤井医師に交代し外来診療を週1回行った。

### 患者数

	令和4年度	令和5年度
外来延患者数	3,683人	3,466人
入院延患者数	2,933人	2,856人
退院患者数	241人	211人

### 手術症例

麻酔	令和4年度	令和5年度
局所麻酔	54人	22人
静脈麻酔	1人	0人
脊椎・硬膜外麻酔	1人	2人
全身麻酔(含：硬膜外麻酔併用)	98人	92人
合計	154人	116人

臓器・分類	令和4年度	令和5年度
リザーバー留置	17件	10件
虫垂炎・痔核・ヘルニア	27件	38件
胃	5件	4件
小腸・大腸	32件	26件
肝・胆・膵・脾	25件	22件
腹膜炎	3件	0件
乳房	8件	4件
肺・胸部	0件	0件
食道関連	0件	0件
血管関連	16件	1件
子宮関連	0件	0件
腎臓	0件	0件
膀胱	0件	0件
皮下皮膚	5件	1件
その他	16件	10件
合計	154件	116件

## 内視鏡

令和5年度は外科 大石医師が中心となり、藤田医師、宇於崎医師、浜松医科大学第二外科より立田医師、第2・4火曜日には磐田市立総合病院 消化器内科の辻医師にお越しいただき検査を行った。

内視鏡検査件数

	令和4年度	令和5年度
胃カメラ (うち胃瘻造設)	1,501件 (9件)	1,406件 (4件)
E R C P	77件	61件
大腸カメラ	530件	415件
その他	9件	8件
合計	2,111件	1,890件

## 整形外科

令和5年度は鈴木、山下、山本の3名で外来診療および手術を行った。毎週水曜日に浜松医科大学整形外科の坂野医師が外来診療及び脊椎手術を行った。

手術症例は、外傷及び変性退行疾患を山下、山本が担当し、リウマチ性疾患症例を鈴木が主に担当した。

	令和4年度	令和5年度
外来延患者数	11,128人	11,212人
入院延患者数	3,466人	4,807人
退院患者数	151人	211人
手術症例数	281人	330人

## 脳神経外科

令和5年度は永尾医師が年度途中で退職となり、非常勤の医師に応援いただき脳神経外科の外来診療及びパーキンソン外来を継続した。

## 皮膚科

当科では皮膚科一般を診療しており、その対象は湿疹・皮膚炎群、蕁麻疹、水疱症、脈管性皮膚疾患、物理・化学的皮膚障害、皮膚腫瘍、感染性皮膚疾患等が挙げられる。

飯田医師の診療に加え、毎週木曜日の午後には浜松医科大学皮膚科より小倉医師にもお越しいただき、外来診療を行った。

	令和4年度	令和5年度
外来延患者数	4,535人	4,624人
入院延患者数	58人	94人
退院実患者数	5人	8人

## 産婦人科

令和5年度は毎週火曜日に佐倉医師、毎週木曜日に浜松医科大学産婦人科の水野医師が外来診療（初診可）を行った。

当院で出産は行っていないが、平成28年度より、おはな助産院（御前崎市）、つむぎ助産院（菊川市）とも契約を結び、必要に応じて健診等を行っている。今後も、妊婦さんが安心して出産できるよう努めていきたい。

	令和4年度	令和5年度
産婦人科外来患者数	582人	591人
子宮癌検診（ドック）	258人	276人
子宮癌検診（市検診）	566人	634人
他病院への紹介（手術・分娩等）	24人	14人

## 耳鼻咽喉科

令和5年度も浜松医科大学医学部附属病院からの応援等を得て、外来診療のみを行った。

毎週月曜日は瀧澤医師、火曜日は森田医師、木曜日は三澤医師が診療を行い、水曜日（1回/月）は峯田医師が予約診療を行った。

急性期で入院加療の必要な患者様には、浜松医科大学附属病院、中東遠総合医療センターなどの施設へ入院加療をお願いしている。頭頸部の悪性腫瘍や手術などは、浜松医科大学医学部附属病院を中心に加療をお願いしている。

引き続き近隣病院との連携を深めながら地域医療の維持に努めていきたい。

	令和4年度	令和5年度
外来延患者数	2,178人	2,192人

## 泌尿器科

令和5年度は浜松医科大学泌尿器科医局より、毎週火曜日に石川医師にお越しいただき、診療を行った。また、むぎ運動場前クリニック院長の吉村医師にも、引き続き週1回お越しいただき、入院患者の診療をお願いした。

	令和4年度	令和5年度
外来延患者数	765人	830人

## 形成外科

令和5年度も、毎週火曜日に浜松医科大学形成外科の太田医師、毎週水曜日に小野澤医師が外来診療を行った。

また、必要に応じて手術室及び外来で手術を行った。

	令和4年度	令和5年度
外来延患者数	1,106人	1,150人
手術室での手術件数	99件	107件

## 麻酔科

令和5年度は、乙呔医師1名体制で手術時の麻酔全般を担当した。また、ペインクリニック外来は毎週火曜日に診療を行い、“痛み”を主訴とする疾患を対象にブロック療法を主体に、西洋薬処方および漢方薬処方等も併用しながら診療にあたった。

	令和4年度	令和5年度
外来延患者数	839人	865人
麻酔科担当手術麻酔件数	206件	252件

## リハビリテーション科

リハビリテーション科は、外来を田中医師（2～3回/月）、回復期リハビリテーション病棟を向井医師及び大津医師、又は整形外科医師も協力し行った。また、月1回浜松医科大学リハビリテーション科より永房医師にもお越しいただき診療を行った。

	令和4年度	令和5年度
外来延患者数	3,623人	3,894人
入院延患者数	1,7191人	19,969人
退院実患者数	305人	315人



## 眼科

令和5年度も浜松医科大学、浜松医療センター、静岡赤十字病院より医師を派遣していただき、一般外来診療を行った。今年度も患者数・手術数、検査数共にやや増加した。

浜松医科大学

○毎週水曜日 午前

(月1～2回) 堀田教授

古森医師、高木医師4～6月、三浦医師7～3月(月1～2回)

○木曜日 午前

(月1～2回) 橋爪医師4～6月まで、荒川医師7～3月

浜松医療センター

○毎週金曜日 午前

磯貝医師4～9月まで、八角医師9～3月

静岡赤十字病院

○毎週火曜日 午後

松岡医師

	平成30年度	平成31年度 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
外来患者数	1,810人	1,956人	2,390人	2,900人	3,208人	3,358人
細隙灯顕微鏡検査 (前眼部)	1,145件	1,289件	1,602件	1,992件	2,155件	2,511件
細隙灯顕微鏡検査 (前・後眼部)	680件	637件	773件	903件	732件	789件
精密眼底検査(片側)	27件	40件	70件	65件	43件	144件
精密眼底検査(両側)	1,619件	1,658件	1,916件	2,433件	2,708件	2,663件
後発白内障手術	10眼	5眼	5眼	6眼	6眼	18眼
虹彩光凝固術	1眼	0眼	0眼	0眼	0眼	0眼
網膜光凝固術 通常	1眼	2眼	1眼	0眼	0眼	6眼
網膜光凝固術 特殊	5眼	2眼	5眼	7眼	4眼	5眼
水晶体再建術	0眼	0眼	0眼	0眼	0眼	0眼

## 透析センター

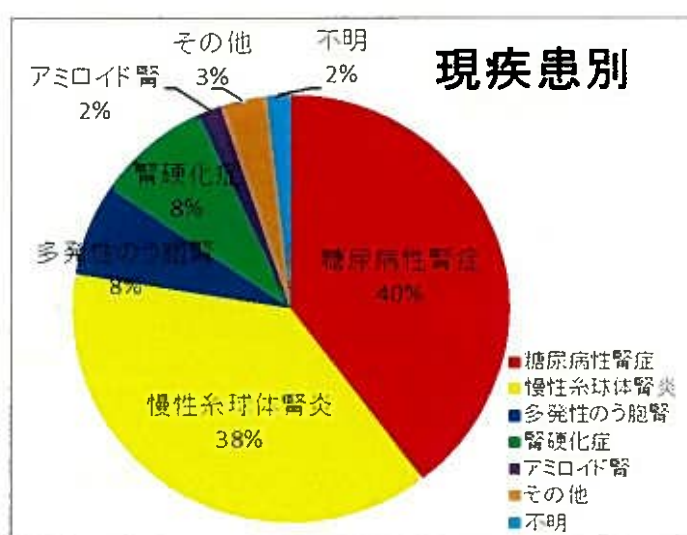
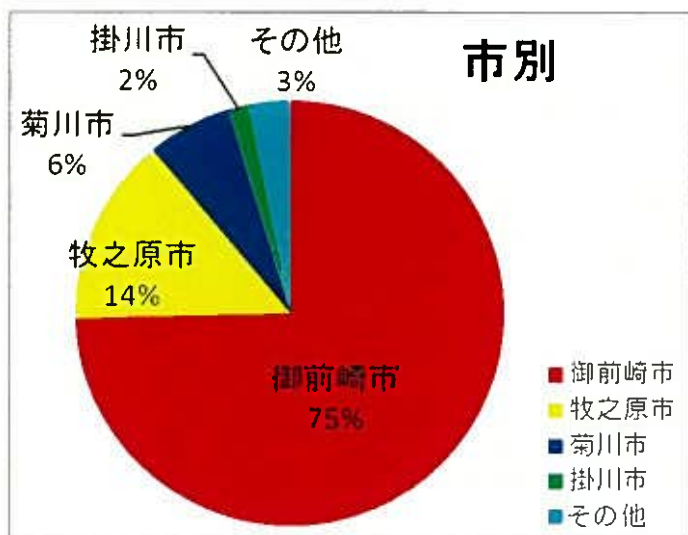
令和5年度新規導入患者は5名、原疾患別では2型糖尿病性腎症が2名、慢性糸球体腎炎2名、腎硬化症が1名であった。他院からの転入は3名、転出は9名、死亡患者数は6名であった。回復期病棟への転入透析患者は0名であった。

5月に透析担当である腎臓内科医の退職により業務を縮減、月・水・金2クールのみとすることとなった。転院を希望する方を近隣の透析クリニックへ転出させたため、維持透析患者は平均48.6名/日となり昨年度より10名減少となった。その後浜松医科大学腎臓内科から非常勤ではあるが3名の医師が赴任していただき治療を継続している。入院治療や透析導入などは、当院内科医師と連携を図り対応した。

COVID-19やインフルエンザによる透析患者の感染には昨年度同様火・木・土に対応することで、感染隔離を行い、透析センター内でのクラスター予防に努めた。

### 透析センター内業務集計

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	平均件数
血液透析	血液透析 (HD)	205	187	180	181	177	184	184	156	134	145	125	50	1908	159.0
	血液濾過透析 (HDF)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	血液濾過透析 (OHDF)	422	476	419	449	441	438	438	431	440	475	407	513	5349	445.8
	血液濾過 (HF・ECUM)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.1
	血液透析+血液吸着	12	14	13	0	13	13	13	13	13	14	12	13	143	11.9
	病棟内血液透析	0	0	0	0	8	0	0	4	0	0	0	0	12	1.0
血液浄化	持続的腎代替療法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	血液吸着	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	血漿交換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	二重膜濾過血漿交換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	血漿吸着	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	腹水濾過濃縮	1	0	1	0	2	1	1	0	0	0	0	2	8	0.7
合計	640	677	613	630	641	636	637	604	587	634	544	578	7409	618.4	
維持透析患者数	56	53	51	51	51	51	51	48	46	46	46	45		49.6	
透析関連機器点検件数	66	113	26	50	65	57	66	103	73	316	112	44	1091	90.9	
体液量測定件数	5	4	4	5	6	13	21	17	12	7	7	5	106	8.8	
血圧脈波検査件数	2	2	3	5	4	3	3	4	11	6	2	4	49	4.1	



## 健診センター

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が2類感染症から5類感染症に移行したことにより、受診者数は前年より増加となった。

企業健診・協会けんぽ健診では、従業員の減少や各事業所助成金額の減少等の影響により、受診者数の増加は難しいところであるが、新規企業等の申込みは増加している。受診月の調整により受診者数の確保に努める。

ドック受診件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1日ドック	59	55	93	112	96	42	112	107	96	87	58	132	1,049
1泊ドック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳ドック	0	1	0	4	1	3	5	9	3	16	0	5	47
企業健診	64	66	29	36	51	692	36	444	35	43	26	12	1,534
市乳がん検診	0	0	181	151	162	74	0	0	85	98	0	0	751
市子宮がん検診	0	0	148	127	131	70	0	0	77	81	0	0	634
市骨粗しょう症検診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	83	0	83
特定健診	12	19	46	62	55	32	51	43	26	25	11	1	383
協会けんぽ健診	51	70	69	93	101	47	77	91	51	55	34	11	750
職員健診	1	283	0	0	0	0	364	0	0	0	0	0	648
合計	187	494	566	585	597	960	645	694	373	405	212	161	5,879

オプション受診件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
乳がん検査	14	18	32	23	42	12	44	36	32	32	19	11	315
子宮がん検査	13	13	28	17	43	15	43	27	20	26	22	9	276
MRI 検査	6	9	20	12	15	6	12	7	8	8	4	1	108
動脈硬化検査	4	3	6	1	4	3	3	1	1	1	0	1	28
骨密度	2	3	1	1	2	3	5	3	4	2	1	0	27
胸部 CT	1	3	3	1	2	1	1	4	1	2	1	2	22
PSA	8	5	18	9	15	8	23	14	17	18	14	20	169
合計	48	54	108	64	123	48	131	92	83	89	61	44	945